

八戸ブックセンター

1
2020



2020年もご来館をお待ちしています!!!

年末年始のおしらせ

12月29、30、31日、および1月1日は休館いたします。

PICK UP EVENT

1/15(水)

＼木村友祐さん、呉勝浩さんノミネートおめでとう!!／

第162回 芥川賞・直木賞 発表 & 受賞者記者会見
生放送パブリックビューイング

第162回芥川賞に木村友祐さんの「幼な子の聖戦」、直木賞に呉勝浩さんの『スワン』がノミネートされました! 受賞作が決まる1/15に、受賞作の発表&受賞者記者会見の生放送番組(配信サイト: ニコニコ動画)を館内でパブリックビューイングします。八戸出身のお二人が受賞されるようみんなで祈りましょう! -----

17:00 ~ 予約不要・出入り自由

※発表は18時~19時台になることが多いです。時間は前後しますのでご了承ください。



1/11(土)

【アカデミック・トーク】

青森県近代文学館

「エクステンド常設展示 寺山修司発想の源泉

～旧蔵図書から」解説』

講師 ^{いとうよしかず}伊藤文一さん（青森県近代文学館 室長）

「書を捨てよ」のフレーズで知られた寺山ですが、その評論・エッセイには、古今東西の実に多様な本が登場し、その膨大な読書量がしのばれます。

今回開催されている『エクステンド常設展示「寺山修司 発想の源泉～旧蔵図書から」』では、その寺山の発想の源泉であった旧蔵図書の一部が公開されています。イベントでは、展示の概要や見どころについて、青森県近代文学館の伊藤文一さんに解説していただきます。

幻想的な寺山の世界をひもとくイベントへ、ぜひお越しください。



『書を捨てよ、町へ出よう』『続・書を捨てよ、町へ出よう』（S47. 芳賀書店発行）、『青年俳句 19.20 合併号』（S31. 青年俳句会発行）など、古書の販売も予定しています！

14:00 ～ 要予約 / ワンドリンク制

1/12(日)

【アカデミック・トーク】

声に出して読みたいフランス語

～ラ・フォンテーヌ『寓話』篇～

講師 吉田オレリーさん（英語・フランス語講師）

7月、10月に開催し好評を博した「フランス語」原文で読む講座です。今回はフランス人ならば必ず習い暗唱するというイソップ童話のフランス版、ラ・フォンテーヌの『寓話』（1668年）より「ウサギとカメ」や「アリとキリギリス」などをテキストとしてフランス語の「文字の読み方・発音の仕方」から「詩の読み方」、ラ・フォンテーヌが活躍したフランス17世紀、ルイ14世の絶対王政時代についてなど楽しく鑑賞していきます。

（テキストは会場でプリント配付します。原書希望の方は、申し込み後での事前購入可能ですが在庫に限りがあります。）

14:00 ～ 要予約 / ワンドリンク制

1/24(金)

ブック・ドリンクス

今月は第3金曜日なので

お間違いないようお越しください！

18:00 ～ ワンドリンク制 予約不要

power push! 高森美由紀

三戸町在住作家・高森美由紀さんの新作『山の上のランチタイム』が
11月に刊行されたことを記念し、八戸ブックセンターではさまざまな企画を開催いたします。

1/18(土) のメニュー ～高森美由紀さんを囲んで～

『高森美由紀・創作の舞台裏』

GO!GO!らじ丸×八戸ブックセンター スペシャルトークイベント

RABラジオの人気番組「GO!GO!らじ丸」とのコラボ企画として月曜パーソナリティの夏目浩光さん、筋野裕予さんが聞き手となり、執筆スタイルや「山の上のランチタイム」創作秘話について高森美由紀さんにお伺いします。

・・・・・・・・ 10:30～12:00 @八戸ブックセンター

『「山の上のランチタイム」を味わう』

イマココカフェ×八戸ブックセンター 食事イベント

「山の上のランチタイム」に登場する料理の再現メニューを食するイベントです。

物語を思い出ししながら、登場人物たちが食べた味を追体験してみましょう。

・・・・・・・・ 12:00～13:00 @イマココカフェ(六日町)

参加料: 実費(1,000円程度)

読書会『「山の上のランチタイム」を読む』

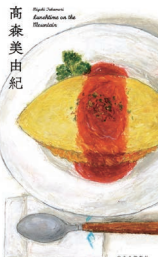
「山の上のランチタイム」について、高森美由紀さんを囲みながら感動した部分や印象的な部分を語り合います。

作品に登場するお菓子を再現した、スペシャルなスイーツセットのご提供も予定していますのでぜひご利用ください!

・・・・・・・・ 13:00～14:30 @イマココカフェ(六日町)

参加料: 実費(お茶代)

山の上の
ランチタイム



『山の上のランチタイム』(中央公論新社)

イケメンオーナー、お手伝いの美少年、そしてへっぽこ従業員・美玖がお届けする、極旨&やみつき確実のお料理小説をご堪能ください!

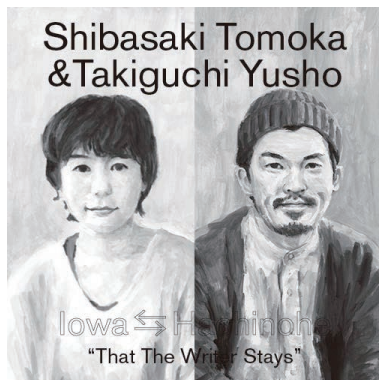
高森美由紀(たかもり・みゆき)

1980年青森県三戸町生まれ。三戸町在住。実家で暮らしながらバイトをして、図書館に派遣社員として勤めるようになってから小説執筆開始。東日本大震災に見舞われ孤児になった子供と彼を受け入れる家庭の少年との交流を描いた『いっしょにアンベ』(2014年フレーベル館刊 第44回児童文芸新人賞を受賞)でデビュー。『ジャパン・ディグニティ』『花木荘のひとびと』など。アンソロジーを含め、これまでに14冊刊行。最新刊は『山の上のランチタイム』。

柴崎友香×滝口悠生 アイオワ／八戸 ～作家が滞在するということ～

アメリカ・アイオワ州にあるアイオワ大学では、世界中から集まった作家たちが約 3 ヶ月間滞在するインターナショナル・ライティング・プログラム（IWP）という企画が毎年開催されています。日本からはこれまで 30 名を超える作家が参加していますが、2016 年に参加したのが柴崎友香さん、2018 年に参加したのが滝口悠生さんです。

本展示では、柴崎友香さんと滝口悠生さんお二人の IWP に関する著書や現地で撮影された写真を通じて、IWP とはどのようなプログラムなのかを紹介し、さらには、八戸でライティングプログラムを実施する可能性について探りたいと考えています。



2/1(土) 関連記念イベント①

「作家が滞在するということ」

しばさきとも か たきぐちゆうしょう
ゲスト 柴崎友香さん 滝口悠生さん

聞き手 内沼晋太郎さん

作家がまちに滞在するとはどういうことなのか、八戸に数日間滞在してみても感想、八戸でライティング・プログラムを実施する可能性などについてお話いただきます。

13:00 ～ 要予約 / ワンドリンク制

1/11(土) 関連記念イベント②&緊急開催！

映画「東北おんばのうた つなみの浜辺で」上映会

東北おんばのうた

ゲスト 新井高子さん（詩人） ケンダルさん（アイオワ大学准教授）

今年の IWP に日本から参加したのは、詩人の新井高子さんです。

新井さんが、アイオワ滞在中に英訳をつかった、映画「東北おんばのうた」とともに急遽来八してくださることになりました！！

新井さんは、2018 年の 3 月に開催された、八戸ブックセンターでのトークイベント『啄木のうた、賢治の詩』に、ゲストとしてお越し下さっています・・・！

17:00 ～ 要予約 / 参加無料

アクセス

【バス】

八戸駅東口から八戸市中心街行き約 25 分
「十三日町」または「八戸中心街ターミナル(八日町)」下車すぐ

【鉄道】

八戸駅から JR 八戸線「本八戸」下車徒歩約 10 分

住所

〒 031-0033

青森県八戸市六日町 16 番地 2 Garden Terrace 1 階

TEL 0178-20-8368

開館時間：10:00 ～ 20:00

休館日：毎週火曜日（祝日の場合はその翌平日）、1/1、および 12/29 ～ 12/31



八戸ブックセンター
HACHINOHE BOOK CENTER

最新情報・イベントのお申し込みは・・・

web <https://8book.jp>

こちらでもチェック！

twitter @hachibookcenter

facebook @hachinohebookcenter

instagram @hachibookcenter